

平成26年度



学校だより 第9号

高岡市立木津小学校
平成27年1月21日
発行責任者 森田英宏

チャレンジ & ありがとう



新年に思う

校長 森田 英宏

新しい年がスタートしました。

3学期は、この1年を振り返り、次の学年につなげる大事な学期です。

この学年での成長を確認し、やり残していることに取り組むまとめの学期です。

ある日の昼休みのことです。廊下で6年生の男の子と一緒に、しばらく雑談しながら歩きました。ちょうど調理員さんが給食ワゴンの片付けをしている横を通りかかった時のことです。その男の子は、大きな声で「今日の給食おいしかったです。」と言ったのです。唐突に発せられた素直な言葉に、視界がパッと開けるような喜びを感じました。調理員さんからは素敵な笑顔が返ってきました。「(校長) 今日のじゃなくて、今日もだろう?」「(男の子) そうだった。ありがとうございます。」何気ない会話がこれほどに楽しく感じられるものなのかと思いました。

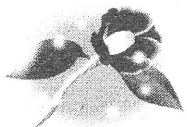
別の日、清掃の時間のことです。子供たちと一緒に図工室を掃除しました。黒板を担当している女の子に、黒板は上から下へ真っ直ぐ拭いていくときれいに拭けること、最後に溝に溜まったチョークの粉を拭き取ることを伝えました。その子は、なるほどというような表情を浮かべた後、わき目も振らず黒板に向かいました。最後に溝の端に拭ききれないチョークの粉が残りました。その時、その子は、ためらうことなく一連の自然な流れのように素手でチョークの粉を取りました。手が汚れることもいとわず黒板をきれいにしようとした、瞬間の真っ直ぐな思考を感じ、こちらの心が爽やかになるのを覚えました。

この、ふたつのエピソードは、子供の持つ純粋さでしょうか。人間としての大切なものを、無意識のうちに行動に現しているように思います。男の子からは、「挨拶」の本質的意味が、女の子からは「奉仕」の本質的意味が伝わってきました。

二人の子供に限ったことではないと思います。「こうした子供たちの大切な姿を、見逃してはいないだろうか。」ふと自省の念に駆られました。

大人は子供にいろいろなことを教えていかなければなりません。その前提に、子供のよさを認めることがあるのだと思います。それは、大人自身が、物事の本質をどれだけ理解しているにかかっているのかもしれませんが。

大事な3学期の始めに、大切なことが確認できた思いでした。



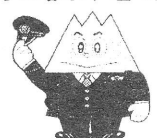
本年も どうぞよろしくお願いいたします。

お 礼



1月10日(土)、本校で開催された「親子で学ぶ110番教室」には、たくさんの方が参加してくださいました。市内では初の試みとのことでした。子供たち自身の防犯意識を高めるよい機会となったと思います。

ありがとうございました。



平成26年度 2学期末「よりよい学校作りを目指して」アンケート結果報告

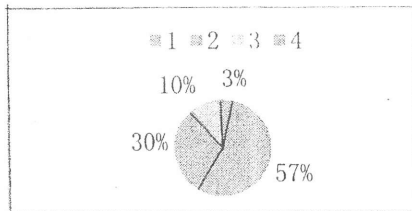
2学期末に保護者の皆様にもご協力いただきました「よりよい学校づくりを目指して」の集計結果をお知らせします。

「とてもそう思う…1」「だいたいそう思う…2」「あまりそう思わない…3」「ぜんぜんそう思わない…4」の4段階で答えていただきました。

各学年の棒グラフは、1・2のプラス評価の全体に占める割合を表しています。(グラフ中の一は前期の評価です)

1 今年度も「学校が楽しいと思う子供の割合が90%以上」を具体的な目標に掲げています。

〈子供〉学校が楽しいですか。(全校)

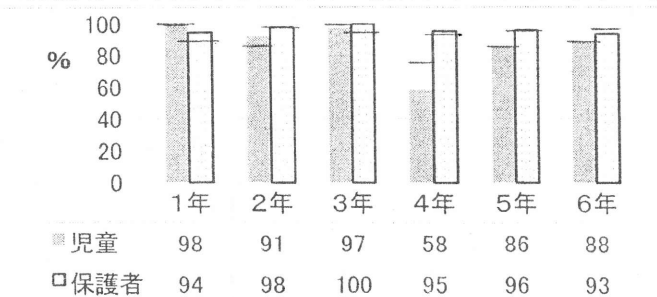


全校では、1・2のプラス評価をしているのは、子供87%、保護者96%でした。前期は子供89%、保護者は95%でした。子供は2ポイント下がり、保護者は1ポイント上がっています。各学年の結果は下記の棒グラフの通りです。

目標は90%ですので、下学年では達成しています。また、子供の評価と保護者の評価にずれのある学年もあります。今後子供にの心に寄り添っていききたいものです。

〈子供〉学校が楽しいですか。

〈保護者〉子供は学校へ行くのを楽しみにしていますか。



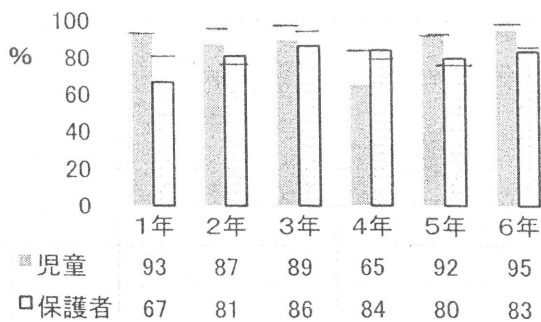
〔保護者のみなさんからのご意見です〕

- ・学校へ行くのを楽しみにしており、ありがとうございます。
- ・学校での様子を話してくれない。楽しんで登校しているが、本当はどうなのかわからないことがある。
- ・家での言葉遣いが悪く、学校のことを聞くと、「だまれ、関係ない」と言う。
- ・学校でどう過ごしているか、友達と仲よく、うまくやっているか心配だ。

2 挨拶を習慣化する子供を目指して、「自分から家族・地域・学校で挨拶する子供の割合が90%以上」を目指しています。

〈子供〉自分から挨拶をしていますか。

〈保護者〉子供は進んで挨拶をしていますか。



子供の評価は、全校で88%と前期の93%より下がりました。保護者は80%でした。

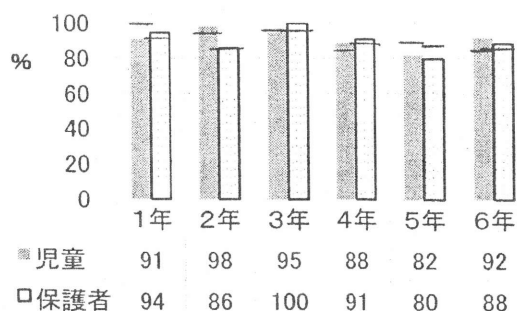
前期は高学年を中心に進んで挨拶をする子供が増えていて、よい傾向にあると思われましたが、後期の評価は下がりました。寒くなってきたからでしょうか。また、今年は学習発表会が終わってすぐにまとめの時期に入ったので、子供たちの気持ちも急いでいたからでしょうか。進んで元気よく挨拶をする子供が少なかったようです。まだまだ挨拶の習慣化ができていないのではないかと思います。今後も地域、家庭、学校が一体となって挨拶に取り組んでいきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

3 関わり合いながら運動する子供を目指して、「自分の目当てをもって運動する子供の割合が90%以上」を目指しています。

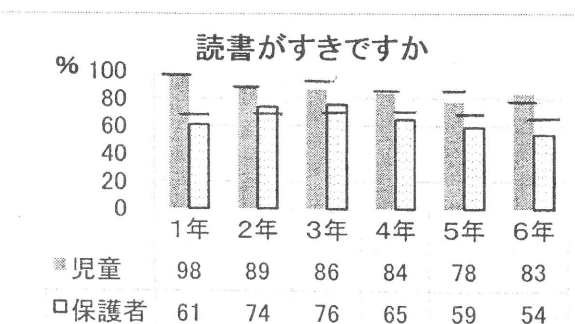
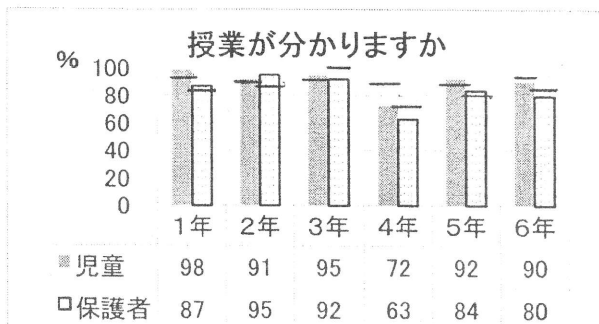
〈子供〉体を動かして遊んだり目当てをもって運動したりしていますか。

〈保護者〉子供は、進んで体を動かして遊んだり運動に取り組んだりしていますか。

達成目標は、90%です。今回も運動については、各学年ともおおむね良好です。全体の達成率は、児童が91%、保護者が90%でした。朝のチャレンジタイムや自主的な朝のトレーニングが功を奏していると思われます。学校では、冬季はなわとびに力を入れています。各自なわとびカードに記録することによって目標を立てて取り組んでいます。また、2月には大なわ大会を開き、各学年色別対抗で回数を競う競技を行います。練習の成果がどのように出るのか楽しみです。

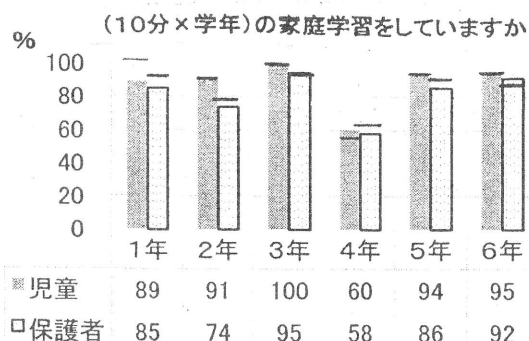


4 学習に関すること



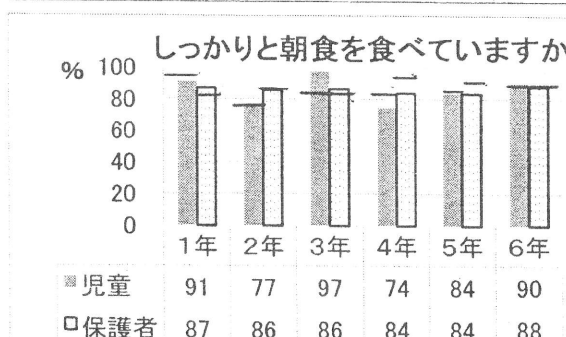
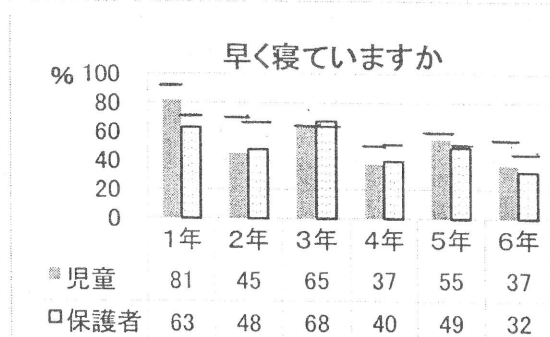
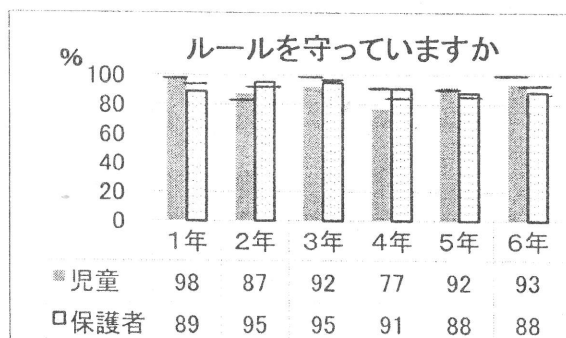
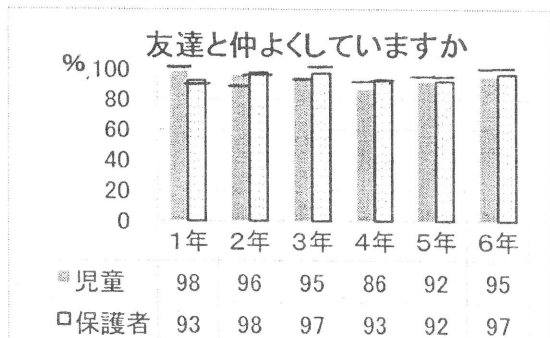
＜保護者の皆さんからのご意見です＞

- ・授業参観では落ち着いて聞いているようだが、家ではなかなか集中できない。
- ・読書を進めようとしめない。
- ・宿題に取りかかる時間が遅く、だらだらとやっている。
- ・算数が理解できていない。少人数のクラス分けを工夫してほしい。
- ・忘れ物が多いのが気になる。他



読書については、学校では主に月・水・金曜日の読書タイムや国語の時間に取り組み、子供たちは進んで本を読んでいます。さらに様々な本を読むように指導していきます。算数など各教科の指導では、基礎的な学力が身に付くように今後も子供の実態を見極めながら進めていきたいと思っています。

5 生活に関すること

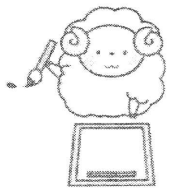


＜保護者の皆さんからいただいたご意見です＞

- ・人と接することが苦手で、一人でいることが好きみたいで気になる。
- ・友達との関わり方や、ルールを守っているかどうか気になる。
- ・自分を押さえて人に合わせることができるようになってほしい。
- ・ゲームの時間を守らない。
- ・寝る時間が遅くなってきた。
- ・朝食は好きなものをわずかししか食べない。他

友達関係や学校での過ごし方に関するご意見が多くありました。また、寝る時刻が遅くて朝すっきり起きられないことや睡眠不足が心配されることも気になるところです。以前から高学年でその傾向がありましたが、低学年でも見られました。十分な睡眠をとることを今後も大切にしていきたいものです。

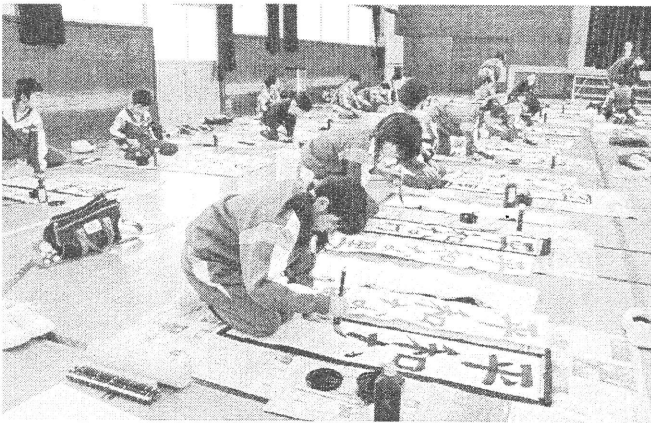
学校では、集団全体への指導をしながら一人一人に合わせた指導も行っています。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いします。アンケートへのご協力、貴重なご意見をいただきありがとうございました。



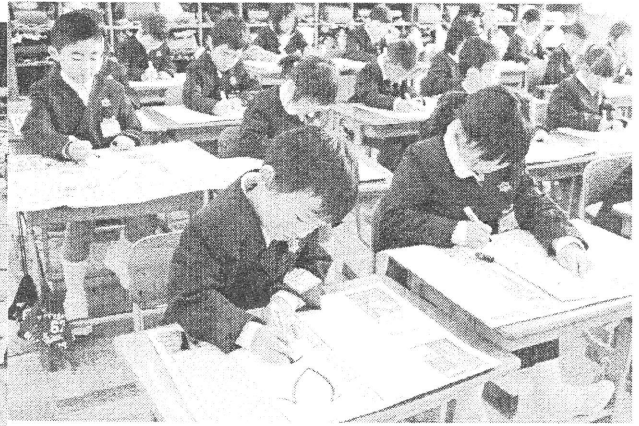
校内書初大会

1月8日、校内書初大会が実施されました。低学年はそれぞれの教室で、中・高学年は体育館で行いました。どちらの会場も、しんと静まりかえり、練習の成果を発揮しようと意気込む子供たちの集中した姿が見られました。

1年生にとっては、初めての書初大会。「先生、いっぱい練習したよ。」「上手になったから金賞がとれたらいいな。」と子供たちははりきって書き上げ、作品のできばえに満足した様子でした。

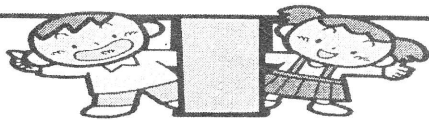


【体育館での書初大会・中学年】



【教室での書初大会・低学年】

むかしのあそびを たのしもう(1年)



1年生は、生活科の学習で「むかしのあそび」の学習をしています。

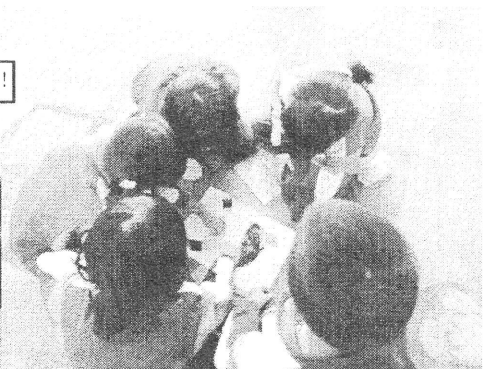
「こまの糸ってどうやって巻くの?」「おはじきってどうやって遊べばいいの?」と戸惑っていた子供たちですが、お手玉、けん玉、ヨーヨー、あやとり…とさまざまな遊びに親しみ、遊び方をマスターしてきました。日頃は、電子ゲームを使った遊びが中心になっている子供たちは、手先を

器用に使ったり、遊び方を自分たちで工夫したりできる昔の遊びの楽しさに気付いたようです。この後、昔の遊びを介してつくし保育園の年長さんとの交流学习を企画しています。もうすぐ、一つお兄さん・お姉さんになる子供たち。年長さんのお世話を進んでほしいと願っています。



真剣な目つきでお手玉の練習中!

なかよくあやとりをする子供たち



自分たちで作った福笑いを楽しんでいます。